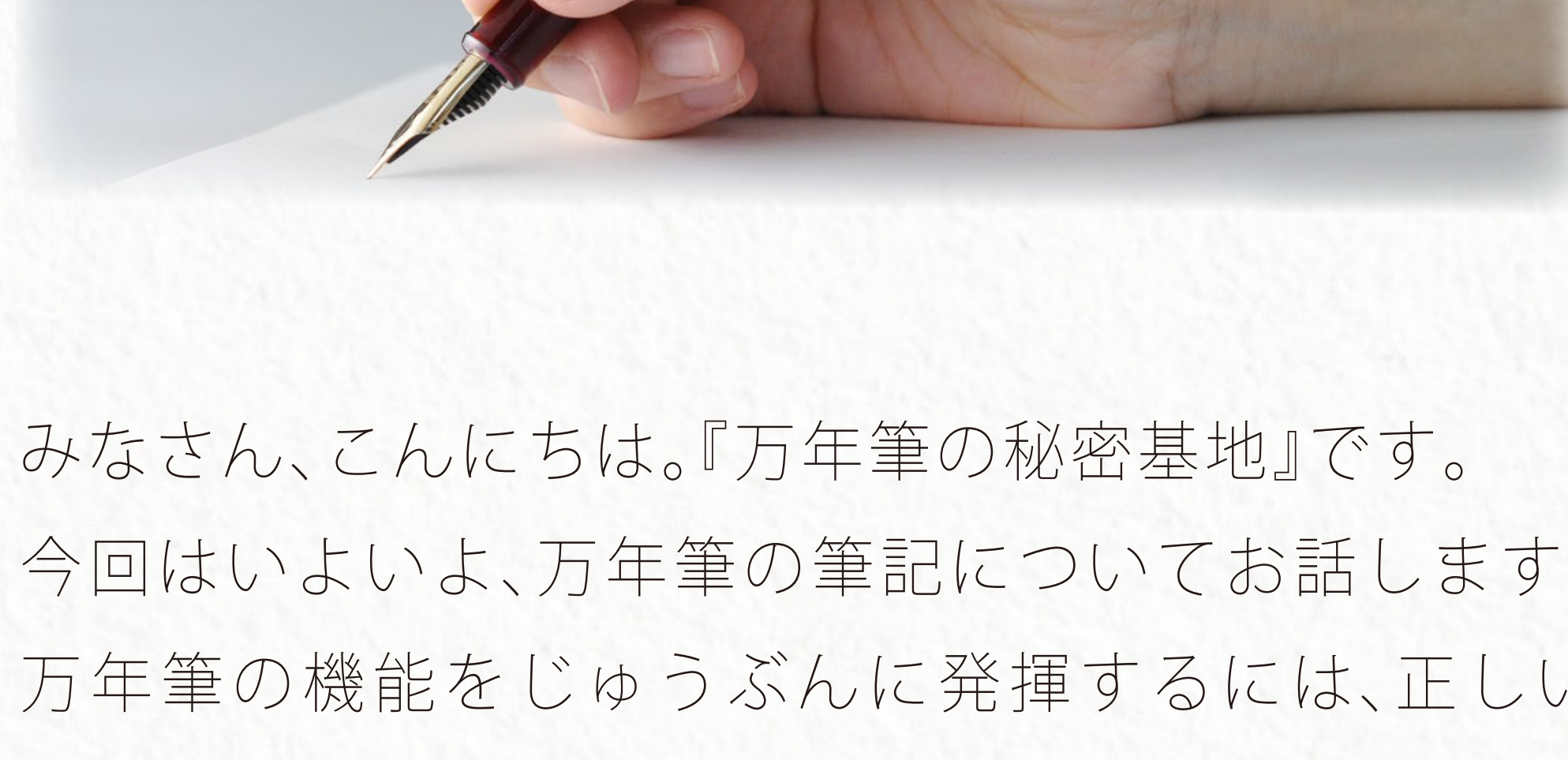




第9回

万年筆“筆記”のキホン

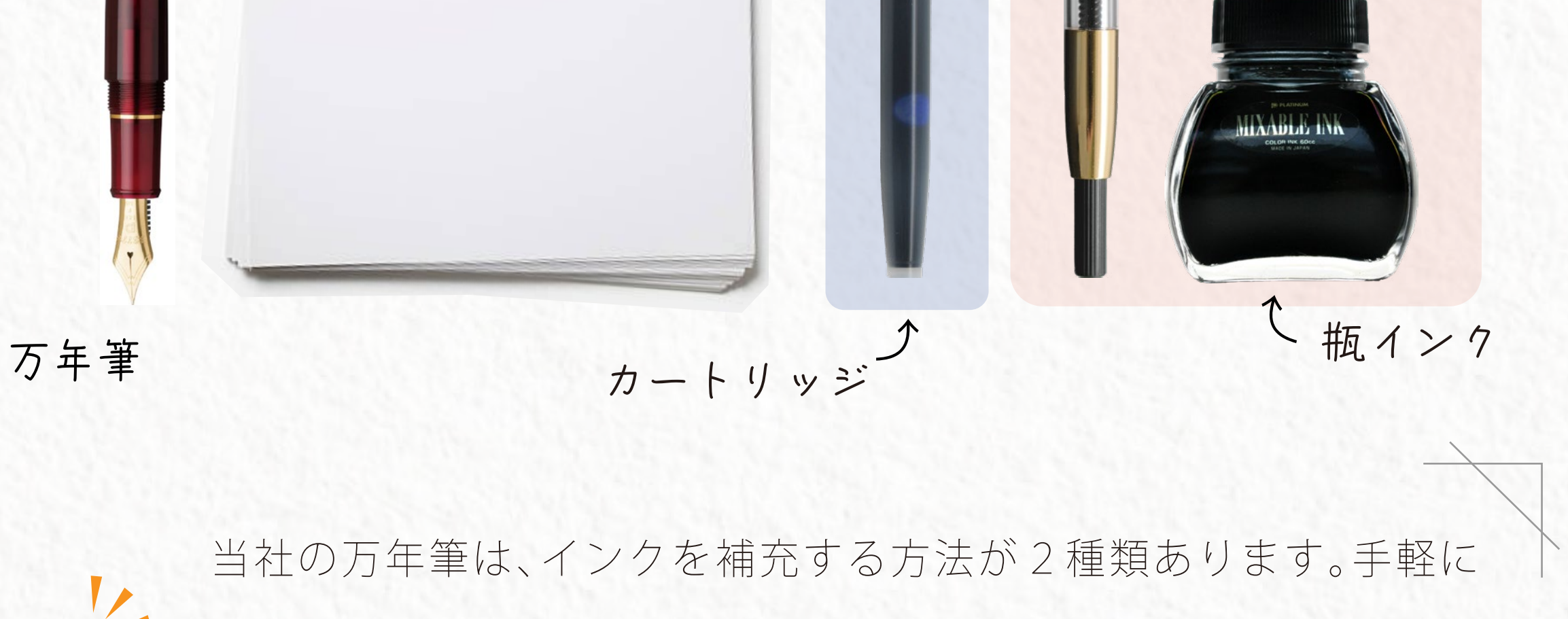
つかう



みなさん、こんにちは。『万年筆の秘密基地』です。
今回はいよいよ、万年筆の筆記についてお話しします。
万年筆の機能をじゅうぶんに発揮するには、正しい
使い方をすることがポイント。万年筆のしぐみをお
さらいしながら、使い方を確認してみましょう！

書くために用意するもの

紙と は、どちらかでOK！



万年筆

カートリッジ

コンバーター

瓶インク



当社の万年筆は、インクを補充する方法が2種類あります。手軽に
万年筆を使うなら、はじめからインクが入った「カートリッジインク」、
インクを補充する機会が多い方や、色々なインクを楽しみたいなら
「コンバーター」がおすすめです。

万年筆にインクを入れてみよう

書く前にまず、万年筆にインクを装着！これで筆記で
きる状態になります。他の筆記具にはない、万年筆な
らではの準備タイムはわくわくしますね。順を追って
見ていきましょう。

1 キャップ、胴軸をはずす



キャップ

首軸

胴軸

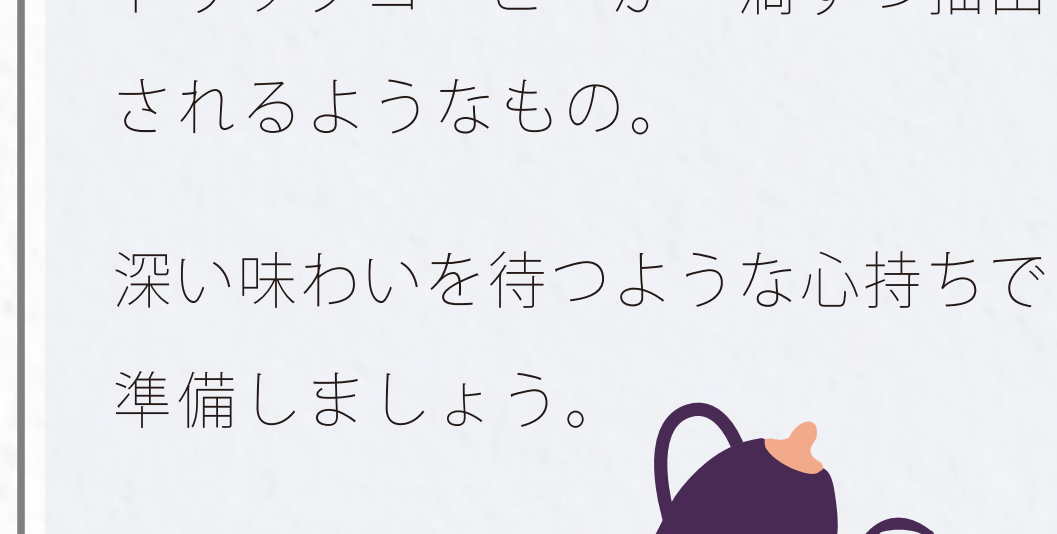
手軽に使うなら！

色々なインクを楽しめよう！

カートリッジインク

コンバーター

2 カートリッジインクを差し込む



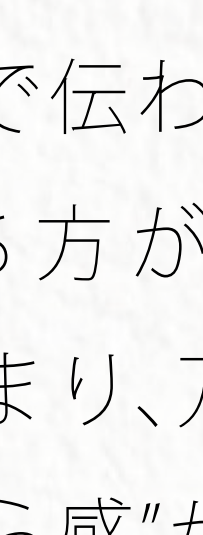
ペン先を上にして、カートリッジ
インクを深く差し込みます。

3 3~5分ほど待つ

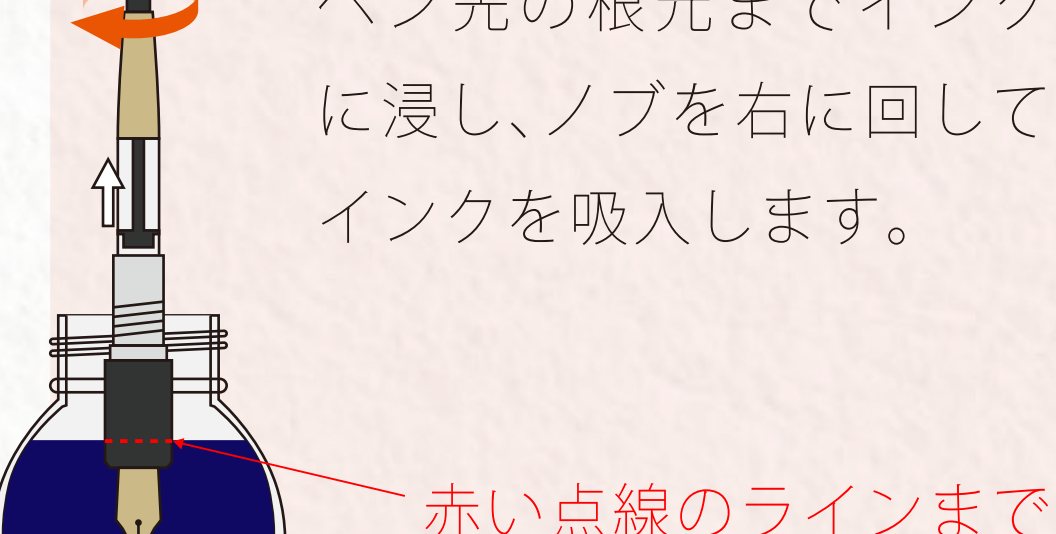
インクがペン芯・ペン先に浸透
するまで、しばらく待ちます。

ペン芯からペン先の通り道（イン
ク溝）はとても細く、浸透するまで
少し時間がかかります。これは、
ドリップコーヒーが一滴ずつ抽出
されるようなもの。

深い味わいを待つような心持ちで
準備しましょう。

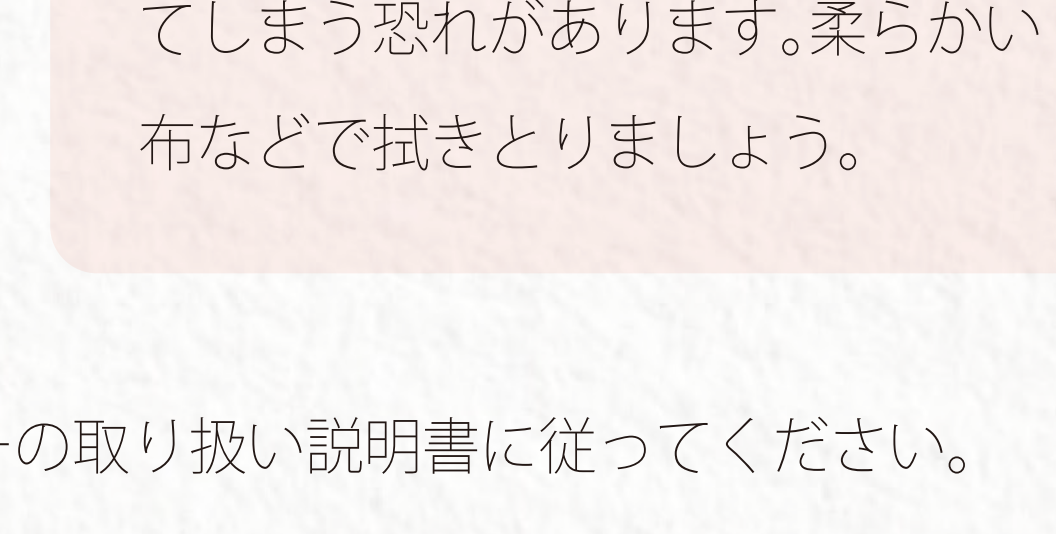


2 コンバーターを差し込む



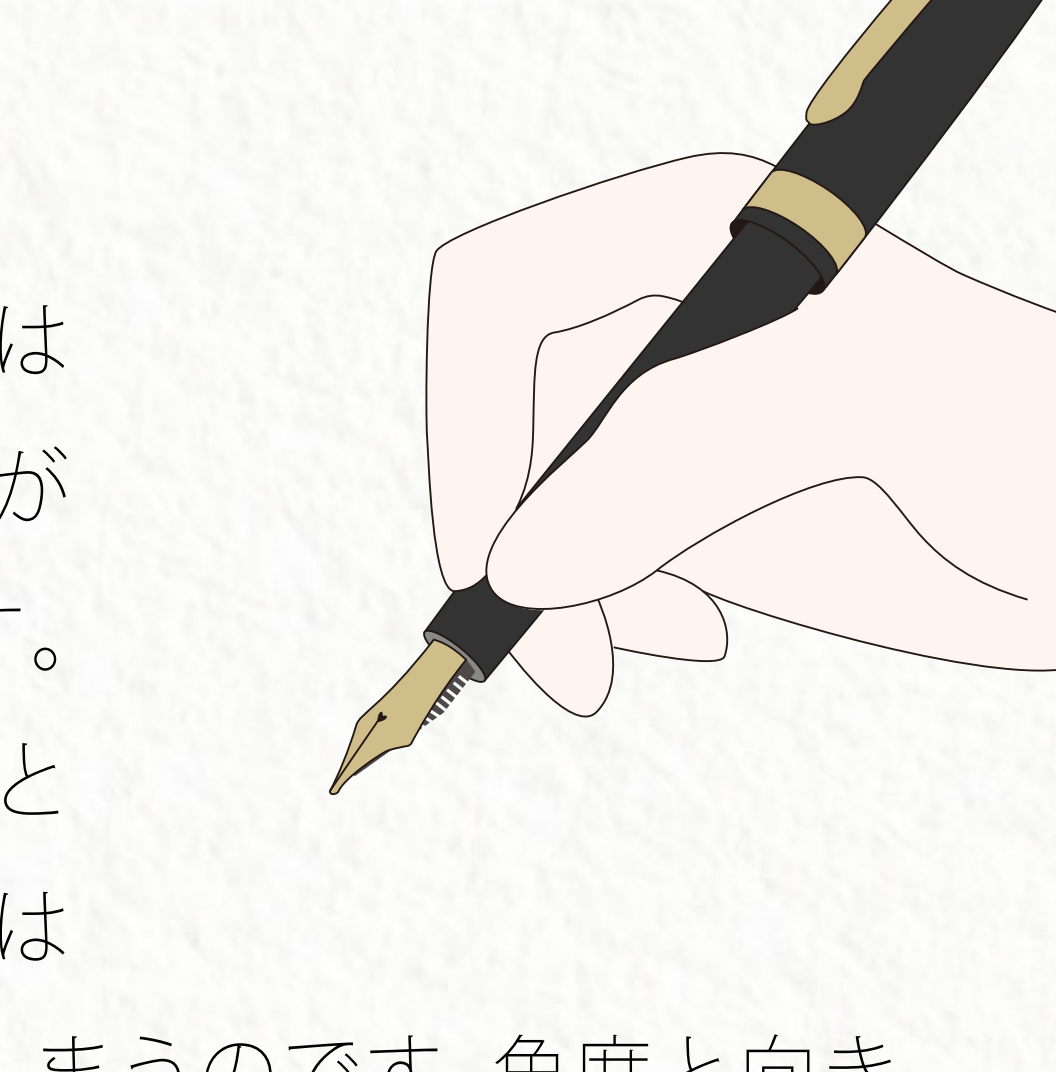
ペン先を上にして、コンバーター
を深く差し込みます。

3 コンバーターのノブを回す



コンバーターのノブを、ピストン
が止まるまで左に回します。

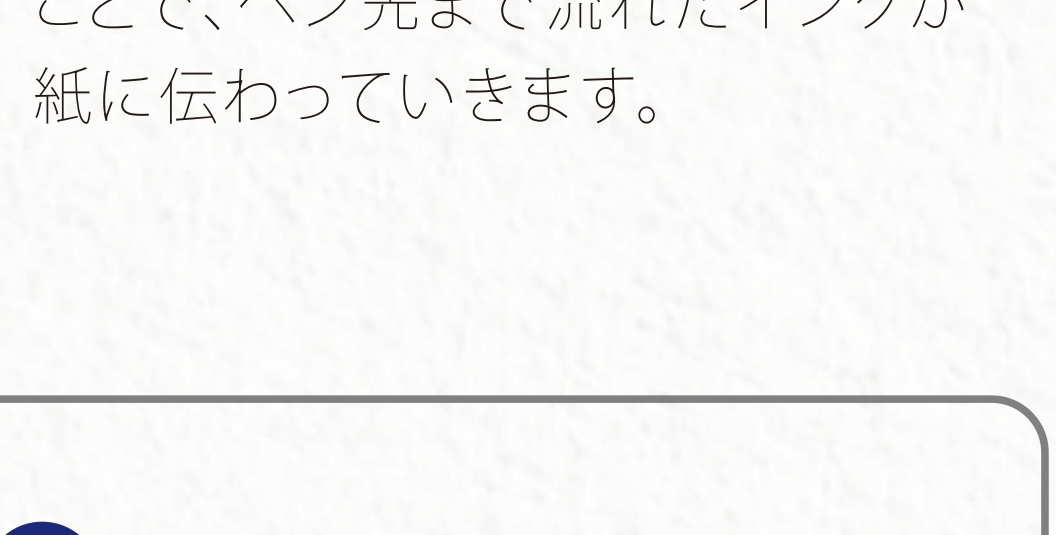
4 コンバーターにインクを入れる



ペン先の根元までインク
に浸し、ノブを右に回して
インクを吸入します。

赤い点線のラインまで
インクに浸そう！

5 余分なインクを拭きとる



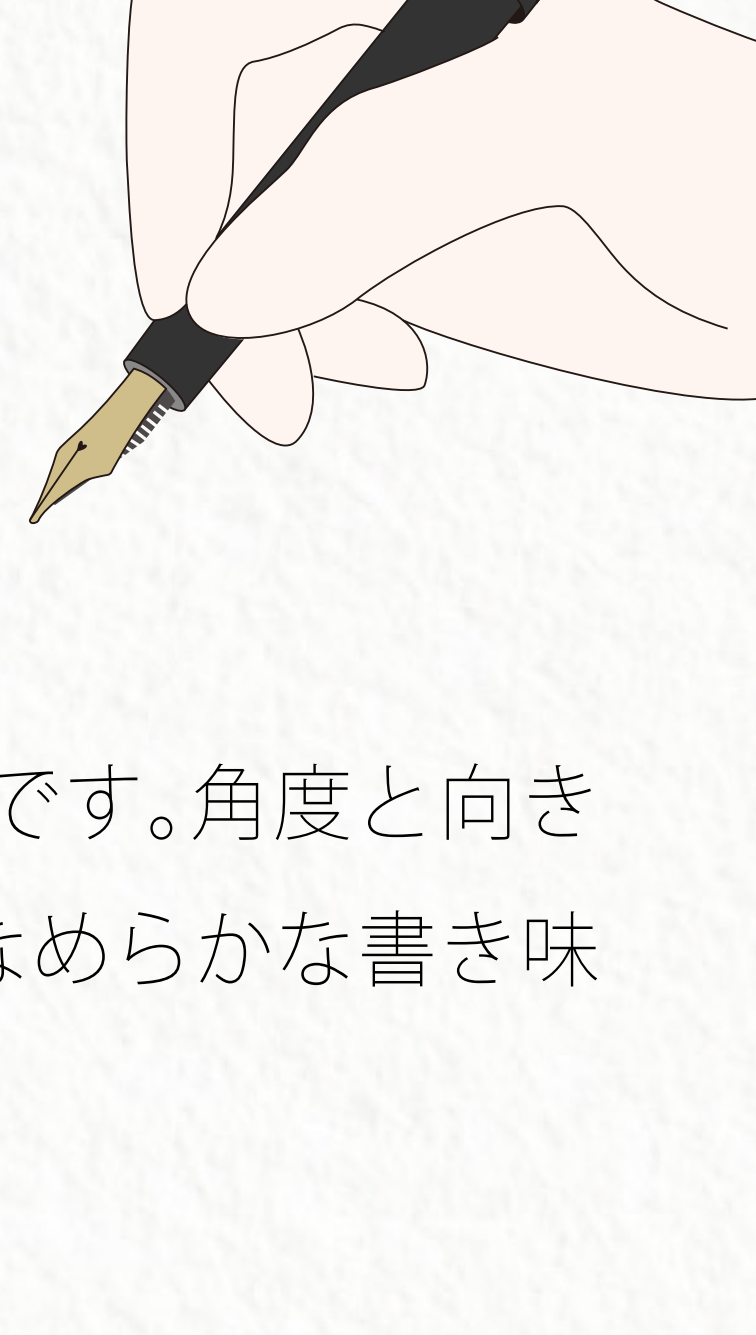
瓶インクに浸したことで、首軸にも
インクがつくことがあります。その
ままにすると、インクで周囲を汚し
てしまう恐れがあります。柔らかい
布などで拭きとりましょう。

※万年筆のインクを入れる方法は、各メーカーの取り扱い説明書に従ってください。

意外と知らない？ 万年筆の正しい持ち方

さあ、準備は整いました！
実際に書いてみましょう。

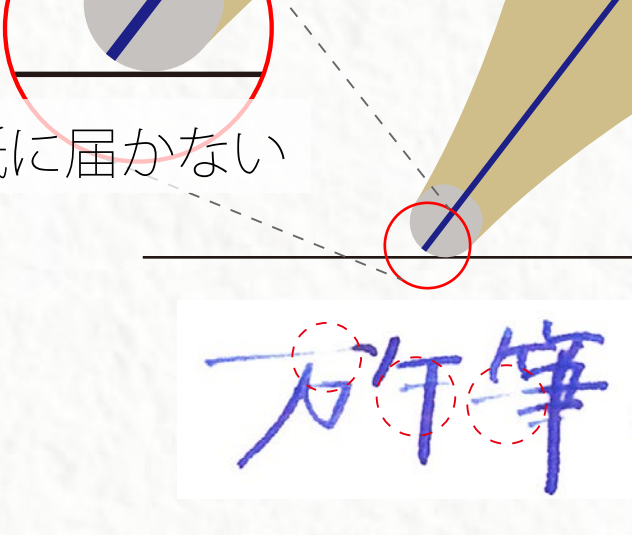
おさらいになりますが、万年筆は
毛細管現象によってインクが
ペン先まで伝わるしくみです。
ただ、持ち方が少しズレると
流れが止まり、万年筆ならではの
“すらすら感”がなくなってしまうのです。角度と向き
の2つのポイントを意識することで、なめらかな書き味
を愉しむことができます。



POINT

1

筆記角度は45-60°！

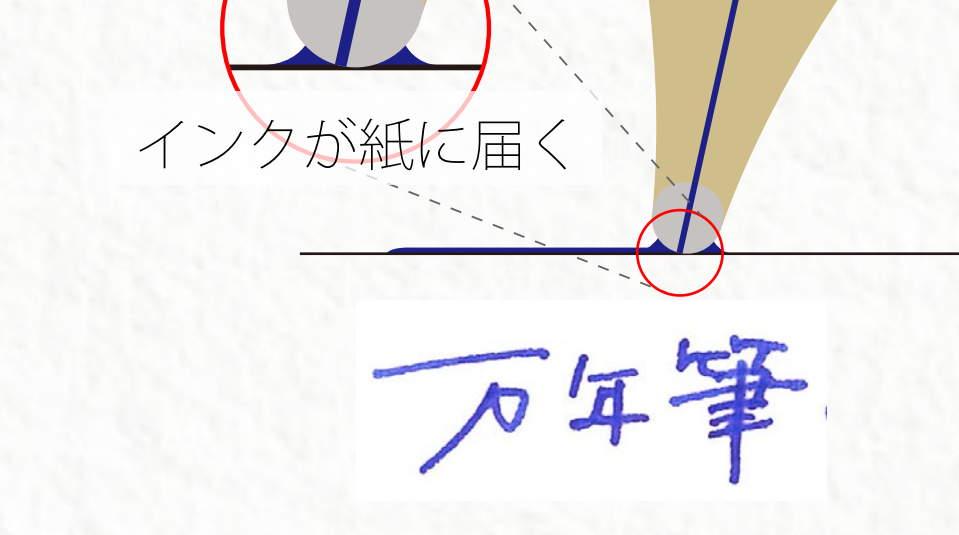


万年筆の角度をおよそ45-60°の範囲
で立てて持つと、インクがペン先まで
スムーズに伝わりやすくなります。

POINT

2

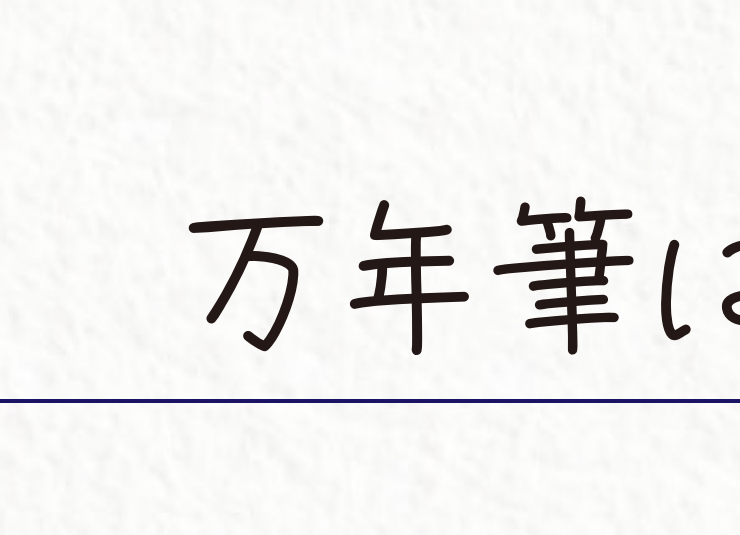
ハート穴に空を見せよう！



左右のペンポイントが紙に触れる
ことで、ペン先まで流れたインクが
紙に伝わっていきます。

✗

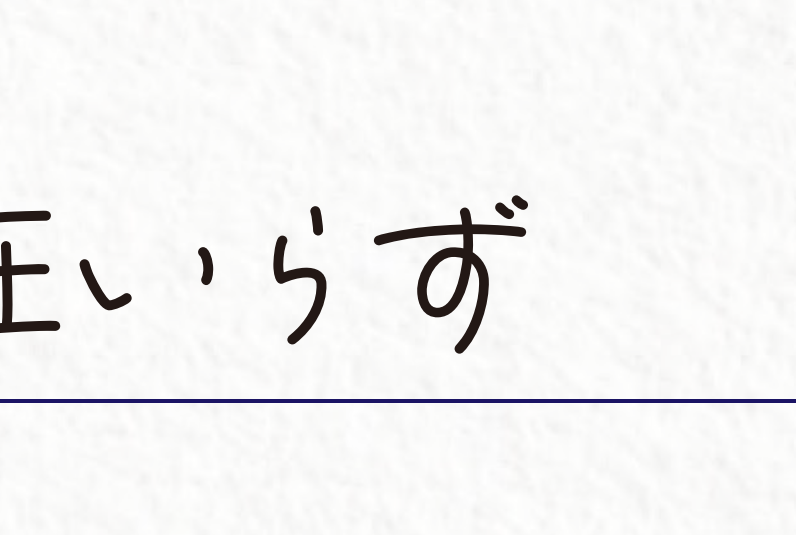
良くない持ち方だと…



インクが紙に届かない
万年筆
インクと紙が触れていないので、線が
かすれたり、細くなったりします。

○

正しい持ち方をすると…



インクが紙に届く
万年筆
インクと紙が触れることで、インクが
紙に伝わり、書くことができます。

万年筆のインクが出る
しくみの解説はこちら→

第3回『万年筆の秘密基地』 インクが出る秘密

万年筆は筆圧いらず

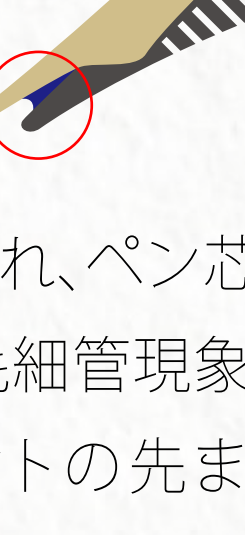
毛細管現象とは、「より細い方へ流れるしくみ」の
ことです。つまり、万年筆はほぼ筆圧がいらない
筆記具なのです。逆に、必要以上に筆圧をかけて
しまうと、なめらかに書けないこともあります。

筆圧をかけすぎると…

切割が広がる

✗

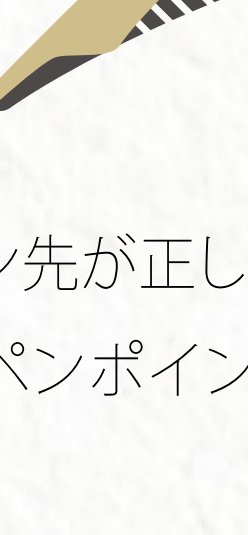
インクがペンポイントまで
伝わらない



切割が広がると、ペンポイント側
の幅が広がるため、毛細管現象
が機能しません。先端までインク
が伝わらなくなります。

○

インクが細い方へ
(ペンポイントまで) 流れる

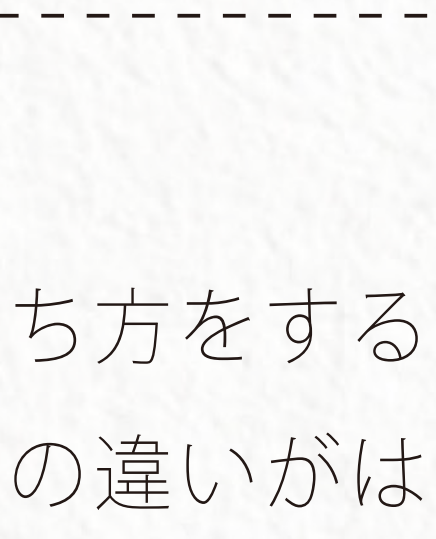


切割の幅が保たれることで、適切
な量のインクがペンポイントまで
伝わります。

ペン先とペン芯が離れてしまう

✗

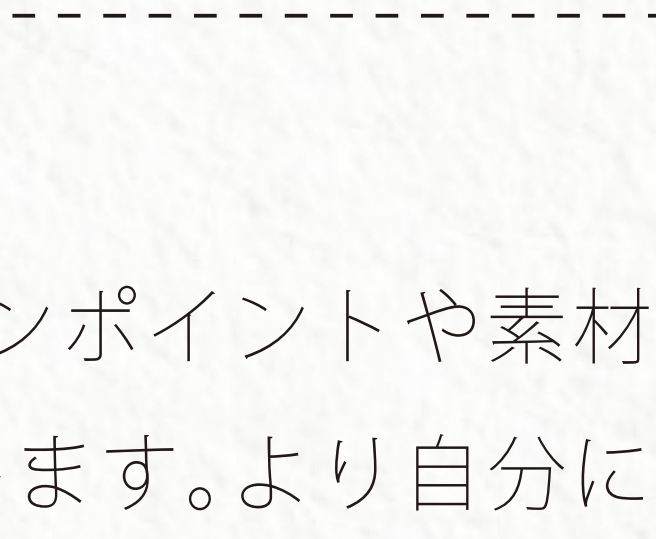
ペン芯・ペン先の間で
インクが止まる



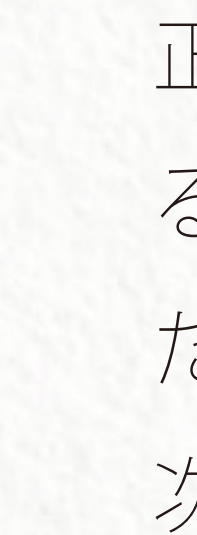
ペン先が反れ、ペン芯から離れる
ケースも。毛細管現象が機能せず
ペンポイントの先までインクが
伝わらなくなります。

○

インクがスムーズに伝わる



ペン芯とペン先が正しく接し、適量
のインクがペンポイントの先まで
伝わります。



一般的にステンレス製のペン先は、合金を使ったペン先よりも硬く
比較的反りにくいといわれています。筆圧が強めな方は、ぜひ店頭で
ステンレス製のペン先も試してみてください！

ほどよい筆圧で書くことで、線に抑揚が生まれたり、
万年筆ならではの「しなり」を愉しむこともできます。

正しい持ち方をするすることで、ペンポイントや素材によ
る筆記感の違いがはっきりと出ます。より自分に合っ
た万年筆を見つける際に活用してみてくださいね。
次回は、万年筆用のインクについてご紹介します。
お楽しみに！